

科目名	作曲法Ⅰ（編曲法を含む）		担当教員	柴田 恭男	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2MTC103
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	<p>テーマ：和声学基礎と編曲法基礎</p> <p>到達目標：和声学においては、基本的な約束事が守られ、基本的な課題が解ける。編曲法においては、楽器の特性を生かした効果的な編曲ができる。</p>				
授業の概要	<p>作・編曲の基礎となる和声学を学習し、和音の知識と意識の上に編曲法の基礎を学習する。和声学は音楽の勉強の中で必要になることも多く、十分な理解が出来るよう課題を解きながら進める。編曲法においては、編曲に必要な様々な要素の解説を行い、基礎的な技法を習得する。実際の編曲にも取り組む。</p>				

授業計画	
第1回	和声学における諸規則、禁則の解説
第2回	三和音基本形の解説
第3回	三和音基本形の課題
第4回	三和音第一転回形の解説
第5回	三和音第一転回形の課題
第6回	三和音第二転回形の解説
第7回	三和音第二転回形の課題
第8回	七の和音の解説
第9回	七の和音の課題（初級）
第10回	七の和音の課題（中級）
第11回	編曲についての解説およびコードネームの確認とヴォイスング
第12回	コードネームからの伴奏譜の作成方法
第13回	旋律創作
第14回	合奏編曲法基礎実習
第15回	作曲法Ⅰまとめ

事前学修	2時間	講義内容に関する資料を調べ、疑問点を質問できるよう整理しておく。
事後学修	2時間	講義内容の確認と、毎時示される関連課題の実施
フィードバックの方法	取り組んだ課題に対して授業内で添削指導しコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	100%	各項目の理解度を問う筆記試験
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書
-----

書名	著者	出版社	ISBN	備考
和声 理論と実習 I	島岡譲 他	音楽之友社	4-276-10205-7	なし
参考資料	必要に応じ配布			